

仙台市みどりの基本計画の 進行管理について



百年の杜づくりキャラクター

フォレツヒ

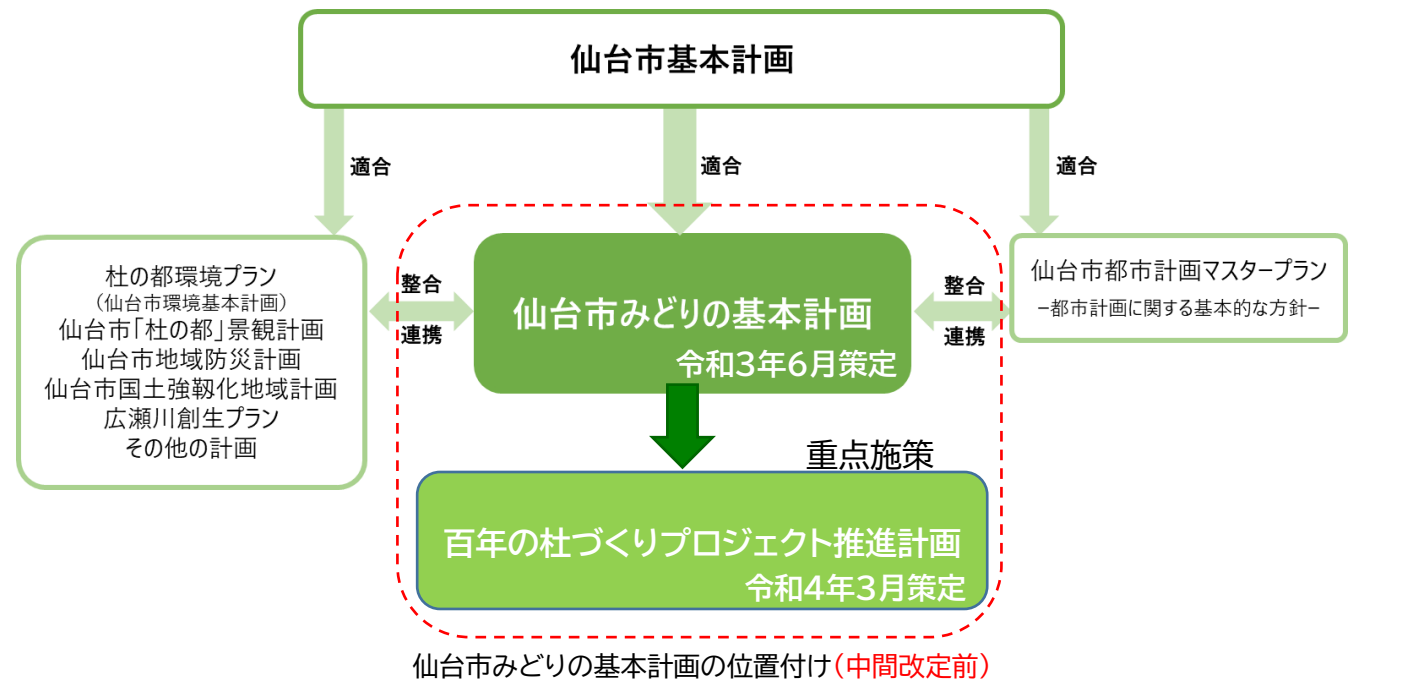
令和8年9月2日
第104回杜の都の環境をつくる審議会

建設局百年の杜推進部百年の杜推進課

1. 仙台市みどりの基本計画2021-2030の概要

みどりの基本計画とは

- ・都市緑地法第4条に定められた緑のまちづくりを推進していくための計画
- ・本市では「杜の都の環境をつくる条例」に緑の基本計画の策定を明記(条例第10条)



計画期間

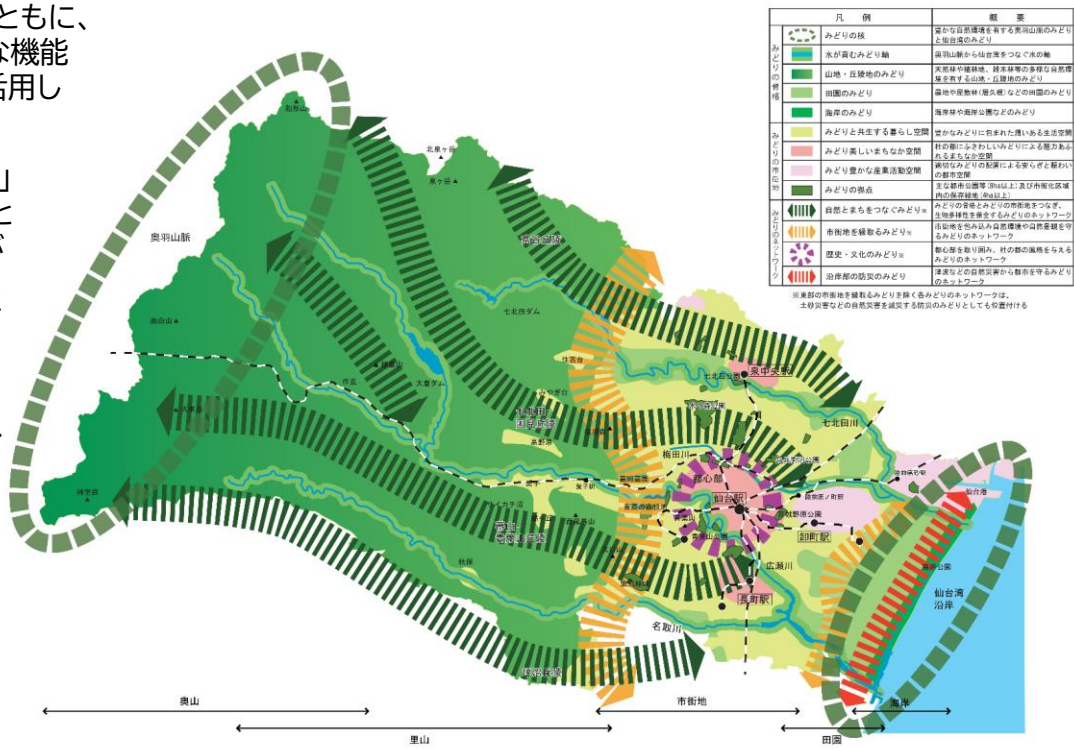
令和3年度～令和12年度(10年間)

基本理念

「百年の杜づくりで実現する新たな杜の都～みどりを育むひと、みどりが育むまち～」

・これまで取り組んできた「百年の杜づくり」を継続するとともに、
培ってきたみどりの多様な機能を
まちづくりに積極的に活用していく

・「グリーンインフラの推進」
を計画の取り組みの姿勢と
捉え、関連する行政分野が
連携を強めるとともに、連
携分野を広げることで、市
民や事業者などの多様な
主体との協働のもと
グリーンインフラを推進し、
基本理念を実現する。

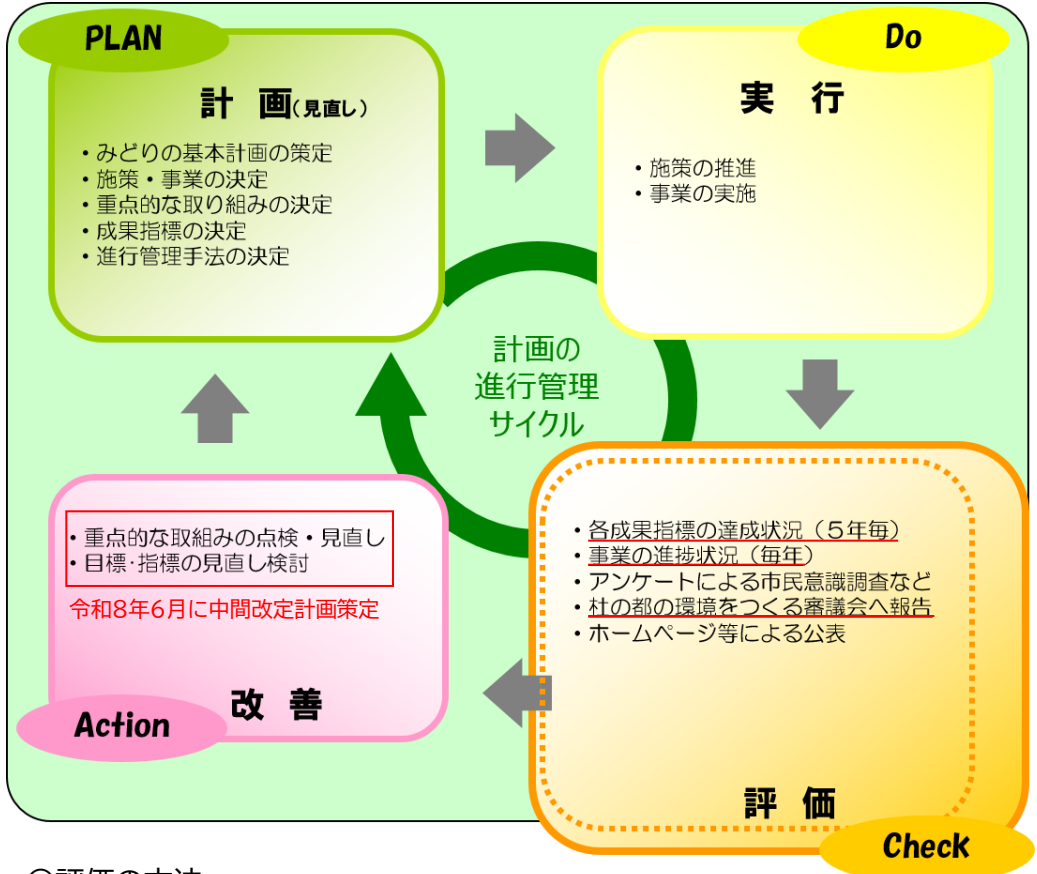


みどりの将来像図

- ・基本理念を実現するため5つの基本方針を設定
- ・基本方針ごとに2つテーマを設け、計画期間内に重点的に実施する重要かつ緊急性の高い分野を「百年の杜づくりプロジェクト」として推進。
- ・各プロジェクトには成果目標を設定し、定期的に進行管理を実施



2. 計画の進行管理手法について



○評価の方法

上半期(令和3年度～7年度)の実績について、事業ごとにS(予定を上回り進んでいる、完了は◎)、A(概ね予定通り)、B(予定より遅れている)の3段階で自己評価を行う。

3. 上半期の実績

計画全体の成果指標に対する実績 ▶▶▶▶▶

指標の概要		基準値 (R1)	目標値 (R12)	上半期 実績
指標1	市域全域の緑被率	78.4%	維持・向上	78.7% ※R6年度調査
指標2	都市計画区域内の都市公園等の 市民一人当たり面積	18.6㎡	20㎡	19.2㎡
指標3	百年の杜づくりに対する市民満足度(※)	69.5%	現在より 向上	75.5%
指標4	身近なみどりに対する市民満足度	34.7%	40%	43.4% ※R6年度調査

※「仙台市市民意識調査」の結果に基づくものであり、本調査において、「百年の杜づくり」は仙台市の26施策の中で4年連続して高い評価を得た。

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
評価順位	1位	1位	1位	2位

(注)令和3年度は調査を実施していない

基本方針毎の指標及び百年の杜づくりプロジェクトの実績 ▶▶▶▶▶

- ・資料1－2に全事業の上半期の実績と自己評価を掲載
- ・本資料4～14ページで、各プロジェクトの主な事業の実績を、写真や図を用いて紹介するほか、成果指標とその到達状況、今後の取組み予定について記載

方針1 みどりと共生するまち

みどりによる雨水対策の推進

法や条例に基づく緑地保全制度の運用、市有林の造林育林、公園や道路、建物敷地等への雨庭等の整備に取り組み、浸水被害の軽減に努めます。

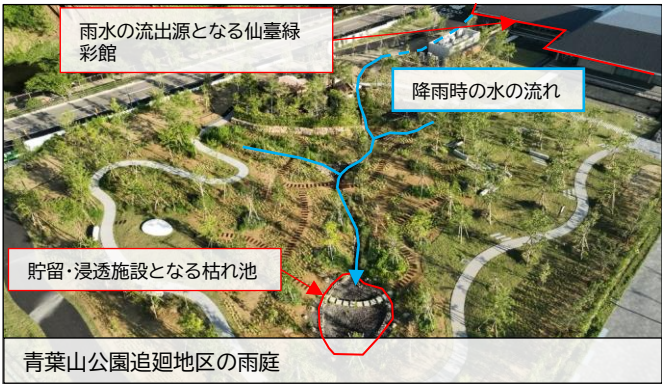
中間改定計画の内容

プロジェクト名を「みどりによる気候変動対策の推進」に変更し、雨水対策に加え、二酸化炭素の吸収源の確保やヒートアイランド現象の緩和を図る。また、成果指標を上方修正するほか、雨水浸透能力や市街地の緑被率の指標を追加する。

事業の主な実績 ※全事業の実績・評価は、資料1-2 P. 1に掲載

【公園や道路における透水性舗装や雨庭等の整備】

- 令和4年に青葉山公園に本市第1号となる雨庭を整備。敷地内にある仙臺緑彩館に降った雨水を、庭園内の枯れ池に流し、地下浸透を促す
- 令和3年度から令和7年度にかけ、高砂中央公園や上杉公園、将監ふれあい公園の整備等において透水性舗装等の雨水流出抑制施設を整備した
- 今後、定禅寺通再整備に際し、ケヤキ並木の生育環境に配慮した雨水浸透施設の整備を予定



【保存緑地制度の運用】

- 建築、土地の形質変更、伐採等の行為を届出制とし、土地所有者の理解と協力の下、市からの協力援助金等を活用し、良好な自然環境を保全
- 保全の担保性をより高めるため、特別緑地保全地区や都市公園に順次移行している



【民有林(私有林)振興事業】

- 民間の林業事業体が作成する森林経営計画を認定し、計画的な森林整備を進めるほか、所有者に代わって市等が森林を経営管理する森林経営管理制度により、森林整備を進める
- 計画上半期に泉区福岡地区等の私有林で間伐等が実施された



【成果指標(令和12年度まで)】

公園緑地等における浸透施設整備により雨水流出抑制が図られた面積
目標:87,000㎡

【令和7年度までの実績】

96,908㎡

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度以降
指標到達に向けたスケジュール						黒…当初予定 赤…実績
【公園や道路における透水性舗装や雨庭等の整備】	道路整備時の透水性舗装の採用や雨庭等の導入検討					
道路における透水性舗装の整備	計15,418㎡					
公園緑地等への雨水浸透施設の整備(※詳細は資料1-2参照)						
・青葉山公園ほか3箇所に て整備 計7,606㎡	・高砂中央公園ほか7箇所に て整備 計38,933㎡	・上杉公園ほか5箇所に て整備 計6,956㎡	・将監ふれあい公園ほか2 箇所に整備 計28,314㎡	・高砂中央公園ほか4箇所に て整備 計15,099㎡		

【総括】

上半期で約97,000㎡の公園緑地において、雨水流出抑制が図られ、令和12年度までの目標を達成した。引き続き、各公園の整備・再整備等に合わせて透水性舗装や雨庭、浸透柵等の雨水浸透施設の整備を進める。

方針1 みどりと共生するまち

生態系を育むみどりの保全・創出

法や条例に基づく緑地保全制度の運用、多自然川づくりや生物多様性地域戦略を推進し、生態系サービスの基盤を充実させます。

中間改定計画の内容

新たに「生物多様性保全推進事業」による自然共生サイトの認定の支援などに取り組むことで、ネイチャーポジティブを推進するとともに、「自然共生サイトの認定数」を成果指標に追加する。

事業の主な実績 ※全事業の実績・評価は、資料1-2 P. 2に掲載

【生物多様性地域戦略の推進】

- 環境省が認定する「自然共生サイト」に、令和7年度は「仙台三高 時習の森」等、新たに4か所が認定され、市内の自然共生サイトは計8か所となった



令和7年度に自然共生サイトに認定された「仙台三高 時習の森」

【特別緑地保全地区の運用】

- 都市計画区域内の緑地について、自然環境を現状凍結的に保全
- 令和6年度に狐沢山および上谷刈地区を指定し、計画上半期内に4箇所指定する目標を達成



上谷刈特別緑地保全地区(令和6年11月指定)

【ふるさとの杜再生プロジェクト】

- 東日本大震災により失われた東部地域のみどりを、市民協働による植樹・育樹などの活動により再生する取り組み
- 防災教育と環境教育をかね合わせた子供向けの震災伝承プログラムを行うなど、より多くの市民に参加してもらうよう工夫したことにより、上半期の累計参加者数は延べ3,011名となった



市民協働による作業



小学生による活動

【成果指標(令和12年度まで)】

身近な生きもの(9種)※1の認識度
目標:全ての種で現在(令和元年度)より向上

※1 ツバメ、カッコウ、モンシロチョウ、アゲハチョウ、セミ、ホタル、トンボ、カブトムシ・クワガタムシ、(ハヤシノ)ウマオイ

【令和7年度までの実績】

3種※2で向上(令和6年度に調査)

※2 モンシロチョウ、アゲハチョウ、トンボ

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度以降
	指標到達に向けたスケジュール					
	【生物多様性地域戦略の推進】				黒…当初予定	赤…実績
	生物多様性保全推進事業の実施					
	・生きもの観察会 8回 177人 ・エコツアー 2回 17人 参加人数計 194人	・生きもの観察会 12回 268人	・生きもの観察会 11回 432人 ・デジタルエコツアー 5回	・生きもの観察会 9回 239人 ・デジタルエコツアー 11回	・生きもの観察会 6回 196人 ・デジタルエコツアー 7回	

【総括】

身近な生きもの(9種)の認識度は3種のみ向上したにとどまった。生息環境の変化や自然環境等触れ合う機会の低下が要因と考えられるため、今後自然とふれあう機会の創出など、認識度向上にむけた取組みをより一層進める。

方針2 みどりで選ばれるまち

都心部の活力・にぎわいの創出

街路樹のある公共空間の活用によりにぎわいを創出するとともに、公園を活用したエリアマネジメントの推進等により新しいビジネス機会の創出を促進します。

中間改定計画の内容

プロジェクト名を「都心部・広域拠点の活力やにぎわいの創出」に変更し、都心部に加えて、泉中央エリアなど広域拠点を対象地として、「七北田公園活性化事業」、「仙台スタジアム民間活力導入事業」などに取組む。また、民間活力の導入の見込みを踏まえ、成果指標を上方修正する。

事業の主な実績

※全事業の実績・評価は、資料1-2 P. 3に掲載

【青葉山公園整備事業】

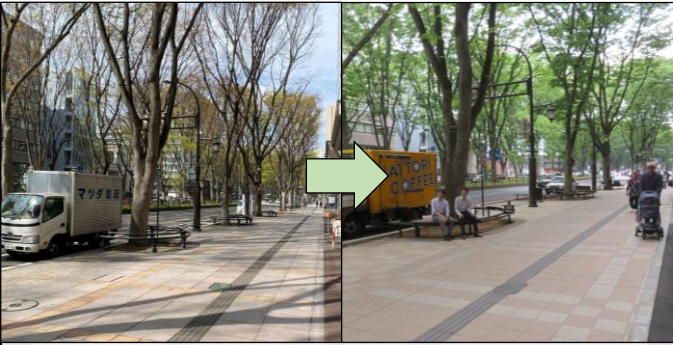
- 令和5年度に追廻地区の指定管理業務が開始、中央広場の整備が完了
- 令和7年度に「もりの案内所」の移築が完了



青葉山公園追廻地区での指定管理者によるにぎわいの創出

【定禅寺通緑地魅力アップ事業】

- 「定禅寺通再整備方針」においてケヤキ並木を継承しながら「ひと中心の空間」への転換と、多様なアクティビティが生まれる環境づくりを行う方向性を示した
- 令和6年度に道路空間再構成に係る再整備工事に着手(令和9年度完了予定)



定禅寺通歩道拡幅の施工前・施工後

【勾当台公園再整備事業】

- 令和7年度に「にぎわいの広場」と「かたらいの広場」の再整備工事に着手
- 「いこいの広場」予定地に仮設広場を建設し、賑わいを維持しながら、工事を進めている



勾当台公園再整備イメージパース(新本庁舎からの眺望)

【街路樹のある公共空間の活用】

- まちなかウォーカブル推進事業では、計画上半期の目標を上回る数の団体が公共空間の利活用を実施
- 今後も民間事業者によるエリアマネジメント活動等の取組みを支援する



まちなかウォーカブル推進事業における青葉通での社会実験

【成果指標(令和12年度まで)】

新たに民間活力を導入する公園施設数
目標:4か所

【令和7年度までの実績】

2か所

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度以降
	指標到達に向けたスケジュール					
	【青葉山公園整備事業】					
	追廻地区公園センター・中央広場整備					
		・追廻地区(公園センター地区)整備完了	・追廻地区(中央広場)整備完了	・もりの案内所設計実施	・もりの案内所移築完了	
			指定管理業務(追廻地区)令和14年度まで			
			・追廻地区の指定管理業務開始(令和14年度まで)			
	【その他】					
	各公園での民間活力導入の検討					
			・高砂中央公園の指定管理者決定			

【総括】

青葉山公園追廻地区と高砂中央公園の2か所において、指定管理制度により民間活力が導入され、新たに民間活力を導入する公園施設数は順調に増加している。今後も、西公園や南小泉交通公園等での民間活力導入を検討する。

方針2 みどりで選ばれるまち

都心部の建築物等における質の高い緑化の創出

建築物等緑化ガイドラインの運用や優良建築物緑化認定制度の導入により質の高い緑化を推進し、都市ブランドや建築物等の価値の向上を図ります。

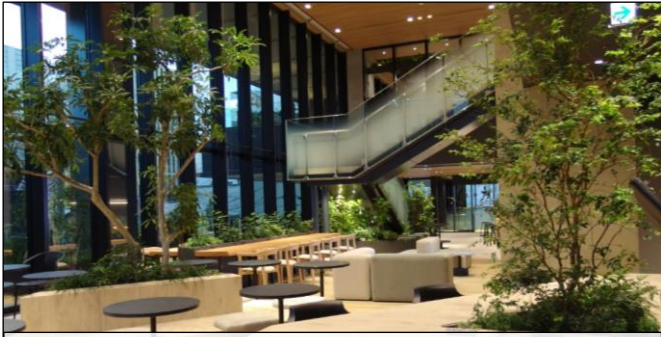
中間改定計画の内容

引き続き、建築物等緑化ガイドラインの運用などにより質の高い緑化を促進する。

事業の主な実績 ※全事業の実績・評価は、資料1－2 P. 4に掲載

【建築物等緑化ガイドラインの運用】【優良建築物緑化認定制度の導入】

- 建築物敷地内における質の高い緑化の推進施策として、質の高い緑化の考え方や実現するための手法・参考例を示した「建築物等緑化ガイドライン」を令和4年度に策定し、緑化計画に関する協議の際に活用することで、民間事業者による質の高い緑化を促進
- 令和4年度に「建築物等緑化の質に関する評価基準」に基づき高得点となる建築物緑化に対して、認定ラベルの発行や表彰、融資制度利用のインセンティブを付与する「優良建築物緑化認定制度」を導入し、令和7年度末までに4件が認定されている



アーバンネット仙台中央ビルの屋内緑化



T-PLUS仙台的壁面緑化

【グリーンインフラ推進助成事業の創設】

- 市内の緑化重点地区内で、雨庭や屋内緑化、屋上緑化等の整備を行う事業を対象とした「グリーンインフラ推進助成事業」の運用を開始
- 助成額は、整備費用の2分の1の額かつ上限500万円とし、仙台都心部緑化重点地区内で質の高い緑化が見込まれる事業に対しては上限額を1,000万円に引き上げる
- 令和7年度は、イオンモール仙台上杉とNANT仙台南町における緑化を対象に助成



イオンモール仙台上杉の雨庭



NANT仙台南町の屋外緑化

【成果指標(令和12年度まで)】

仙台市都心部緑化重点地区における緑被率・緑視率
目標:緑被率 14.3% 緑視率33%

【令和7年度までの実績】

緑被率11.7% 緑視率30.1%
(令和6年度に計測)

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度以降
	指標到達に向けたスケジュール				黒…当初予定	赤…実績及び見直・追加予定
	【優良建築物緑化認定制度の導入】					
		制度の設計	運用			
		・制度設計完了	・制度運用開始 ・優良建築物緑化認定 1件	・優良建築物緑化認定 2件	・優良建築物緑化認定 1件	
	【グリーンインフラ推進助成事業】					
		制度の設計・助成事業実施の検討				
		・制度設計完了	・制度運用開始 ・助成実績 1件		・助成実績 2件	
	【市役所などの大型公共建築物でのモデルとなる緑化の実施(市役所本庁舎の建替え)】					
	基本設計	実施設計		本体工事		
	・基本設計完了		・実施設計完了	・本体工事着手		
			先行解体工事			

【総括】

重点地区内の開発や街路樹の撤去等が要因となり、仙台市都心部緑化重点地区における緑被率・緑視率の実績値が基準値より減少した。引き続き建築物等緑化ガイドラインを活用した協議や優良建築物緑化認定制度といった各制度の周知・運用により、継続して質の高い緑化を推進する。

方針3 みどりを誇りとするまち

街路樹による風格ある景観づくり

街路樹の整備や更新、管理などの総合的な計画の作成・運用により、歩いてみたくなる美しい街路樹空間を創出します。

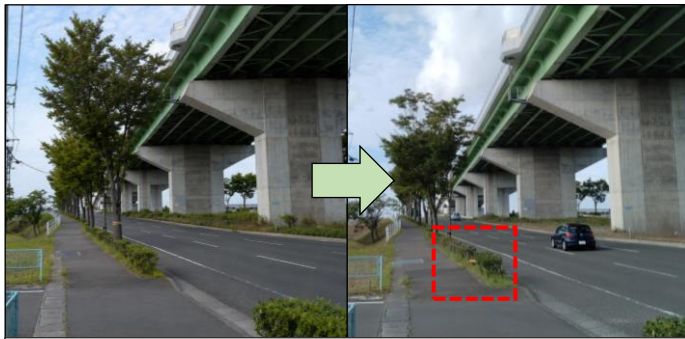
中間改定計画の内容

引き続き「計画的な街路樹更新の実施」による地域特性や道路空間等の植栽環境に応じた街路樹の管理などに取り組むとともに、街路樹更新計画（高木）の更新完了予定路線数に基づき、目標値を上方修正する。

事業の主な実績 ※全事業の実績・評価は、資料1－2 P. 5に掲載

【計画的な街路樹更新の実施】

- 街路樹の大径木化や樹勢不良に伴う倒木、歩道有効幅員の確保等の様々な課題を踏まえ、限られた財源の中で適正な街路樹管理を行っていくため、「街路樹マネジメント」の一環として、今後10年間の街路樹更新に関する計画である「街路樹更新計画」を令和6年2月に策定
- 令和6年度より順次更新事業を進めている



仙台塩釜線のケヤキの植栽環境改善（伐採）（令和7年度実施）



富沢南6号線の改植（シラカシ→ヤマボウシ）（令和7年度実施）

【緑化重点地区内の街路樹充実事業】

- 緑化重点地区内の街路樹を、地区内及び周囲の公園緑地をつなぐ「みどりの軸」として、みどりのネットワークを形成し、適切な管理・整備により街路樹の充実を図る
- 令和5年度に、青葉通線で樹勢不良のケヤキの更新や元寺小路福室線の中央分離帯でケヤキの補植を行ったほか、令和6年度には元寺小路福室線の歩道部においてヤマボウシを23本植栽した。



元寺小路福室線でのヤマボウシの植栽（令和6年度実施）



元寺小路福室線でのケヤキの植栽（令和5年度実施）

【成果指標（令和12年度まで）】

街路樹の再生（更新路線数）
目標：10路線

【令和7年度までの実績】

13路線

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度以降
	指標達成に向けたスケジュール					
	【計画的な街路樹更新の実施】					
	路線評価 優先順位決定		更新樹種検討・地域住民意向確認			
	・対象路線調査		・街路樹更新計画（素案）のとりまとめ			
			街路樹更新計画の策定			
			更新の実施			
				・10路線更新完了	・3路線更新完了	

【総括】

令和5年度に策定した「街路樹更新計画」に基づき、13路線の街路樹更新が完了し、上半期で目標値を上回った。今後も、街路樹更新計画に基づき、街路樹の更新を実施する。

方針3 みどりを誇りとするまち

仙台ならではのみどりの活用

名木・古木、彫刻めぐりや居久根、貞山運河など地域資源の利活用を進め、地域への誇りと愛着を醸成します。

中間改定計画の内容

青葉山公園や秋保大滝植物園の魅力向上事業などに取り組み、青葉山エリアや秋保大滝などを観光資源として磨き上げ、活用することで、市民に地域への誇りと愛着を醸成するとともに、交流人口の拡大を促す。

事業の主な実績 ※全事業の実績・評価は、資料1-2 P. 6に掲載

【仙台ならではのみどりを活用したイベントの開催(杜の都の名木・古木巡り、杜の都の彫刻めぐり)】

- 市内の保存樹木(仙台市指定)を巡り地域への誇りと愛着を醸成する、「杜の都の名木・古木めぐり」を実施
- 市のホームページにも保存樹木の解説を掲載し、より幅広い周知を図っている
- みどりと調和し、特色ある都市空間を生み出している彫刻を巡る「杜の都の彫刻めぐり」も実施



杜の都の名木・古木めぐり(仙台市公園緑地協会 主催)の様子



杜の都の彫刻めぐりの様子

【仙台ならではのみどりを活用したイベントの開催(四ツ谷用水再発見事業)】

- 杜の都を潤した「四ツ谷用水」を次世代に継承するため、「四ツ谷用水バスツアー」や「四ツ谷用水フォーラム」等のイベントを実施

2025年
6月28日(土) 9:00-12:30
杜の都を潤した水の道
四ツ谷用水バスツアー

杜の都を潤した水の道
四ツ谷用水
フォーラム
日時
2025(令和7)年 12月6日(土)
13時30分 - 16時00分(開始13時)
場所
東北大学大学院環境科学研究科
本館2階大講義室
〒980-8579 仙台市青葉区本町1-3
13時30分開始 参加費: 無料(当日受付可)

四ツ谷用水バスツアーと四ツ谷用水フォーラムのチラシ

【貞山運河の利活用事業】

- 海岸公園藤塚地区において河川空間とまち空間が融合した良好な空間形成を目指す「かわまちづくり」に取り組む
- 令和5年度に国土交通省により名取川藤塚地区かわまちづくり計画が登録され、令和7年度から工事着手



名取川藤塚地区かわまちづくりの整備イメージ

【成果指標(令和12年度まで)】

仙台ならではのみどりを活用した(名木・古木など)イベント開催件数
目標:10回/年度 以上

【令和7年度までの実績】

10回/年度 以上を計5か年達成

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度以降
	指標到達に向けたスケジュール				黒…当初予定	赤…実績
	【仙台ならではのみどりを活用したイベントの開催】					
	イベントの開催					
	・杜の都の彫刻めぐり 計2回 ・四ツ谷用水再発見 計3回 ・生物多様性(仙台市 固有のもの) 計7回	・杜の都の彫刻めぐり 計4回 ・四ツ谷用水再発見 計2回 ・杜の都の名木・古木めぐり 計1回 ・生物多様性(仙台市 固有のもの) 計8回	・杜の都の彫刻めぐり 計4回 ・四ツ谷用水再発見 計3回 ・杜の都の名木・古木めぐり 計1回 ・生物多様性(仙台市 固有のもの) 計6回	・杜の都の彫刻めぐり 計4回 ・四ツ谷用水再発見 計4回 ・杜の都の名木・古木めぐり 計1回 ・生物多様性(仙台市 固有のもの) 計7回	・杜の都の彫刻めぐり 計4回 ・四ツ谷用水再発見 計4回 ・生物多様性(仙台市 固有のもの) 計5回	

【総括】

上半期では、杜の都の名木・古木めぐり等、仙台ならではのみどりを活用したイベントを毎年度10回以上開催し、目標を達成した。下半期においても、これらのイベントを継続して開催し、地域への誇りと愛着の醸成を図っていく。

方針4 みどりとともに人が育つまち

こどもの遊び・学び環境の充実

公園などこどもの遊び環境の充実、環境教育・学習の推進、プレーパークの拡充等により、こどもが豊かな人間性や社会性を身に着ける可能性を広げます。

中間改定計画の内容

こどもの遊び環境や学び環境の充実にむけて、「(仮称)西公園屋内遊び場整備事業」や「交通公園再整備事業」など、公園における遊び環境のハード整備を強化する。

事業の主な実績 ※全事業の実績・評価は、資料1-2 P. 7に掲載

【こどもによる緑の活動支援事業】

- ・ 栢江小において間伐体験・木工教室を行う「自然体験学習林」継続実施
- ・ 令和6年度に南材木町小にてビオトープを整備したほか、学校の森の整備済みである南吉成小にて「学校もりづくり」について出前講座を実施



学校の森づくりで整備したビオトープ(南材木町小学校)

【身近な公園整備・再整備事業】

- ・ 令和7年度に完成した将監ふれあい公園では、地域住民で構成される再整備・利活用検討委員会により、再整備計画から管理運営まで一貫して、市とともに主体的な検討を進めた。



将監ふれあい公園(令和7年度完成)

【こどもの遊び環境の充実】・【プレーパークの拡充】

- ・ 令和4年度から令和7年度にかけ、こどもの自由な遊び場の展開を市内15箇所で開催
- ・ 令和7年度にプレーリーダー育成推進業務を開始し、プレーリーダー養成講座を2回開催



広瀬川でのプレーパークの様子

【環境教育・学習推進事業】

- ・ 小中学校や市民団体等を対象する「せんだい環境学習講座」において、「身近なところで生きものの体験」等を実施
- ・ 引き続き事業を実施し、環境教育・学習の推進に取り組む



せんだい環境学習講座(身近なところで生きものの体験)

【成果指標(令和12年度まで)】

身近な公園の役割がこどもを遊ばせる場所と回答する市民の割合
目標:現在(令和元年度 62.6%)より向上 (「みどりの市民意識調査」からの引用)

【令和7年度までの実績】

63.8%
(令和6年度に調査実施)

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度以降
指標到達に向けたスケジュール					黒…当初予定	赤…実績
【こどもの遊び環境の充実】・【プレーパークの拡充】						
実証実験の実施				方針を踏まえた公園の整備・再整備事業の実施		
	こどもの遊び環境のあり方検討			・仙台市遊びの環境の充実に向けた取組方針の策定		
プレーパークの普及啓発、プレーリーダーの育成推進、活動の内容に応じた柔軟な公園運用						
・プレーパークづくり勉強会への参加	・七北田公園などでプレーリーダーを配置した実証実験の実施 ・高砂中央公園にインクルーシブ遊具を整備	・台原森林公園など市内3か所でプレーパークを開催	・深沼海水浴場など市内4か所でプレーパークを開催 ・プレーリーダー養成研修の開催	・西公園など市内3か所でプレーパークを開催 ・プレーリーダー養成研修の開催		

【総括】

身近な公園の整備やプレーパーク開催の推進等により身近な公園の役割がこどもを遊ばせる場所と回答する市民の割合が目標を若干上回った。今後は、西公園の屋内遊び場などハード面の取組みを強化し、こどもの遊びの環境の更なる充実を目指す。

方針4 みどりとともに人が育つまち

みどりを活用したコミュニティ、地域づくりの推進

コミュニティガーデンづくりや公園緑地を活用したウォーキング等の健康づくり、みどりに関する各活動団体の支援等により、地域全体で支えあう環境づくりを進めます。

中間改定計画の内容

花とみどりを介し多様な立場の人が調和し、支えあう環境づくりを進めるため、新たに「未来の杜せんだいネット ハナミドリエ」や「公園愛護協会の活動推進」などの取り組みを推進する。

事業の主な実績 ※全事業の実績・評価は、資料1-2 P. 8に掲載

【みどりに関する各活動団体の支援】

- ・仙台市が広報や活動費用の助成により各活動団体を支援
- ・金剛沢緑地愛護協力が、里山と広場を融合した「八木山テラス」を整備し、第33回「緑の環境プラン大賞(公益財団法人都市緑化機構)」シンボル・ガーデン部門受賞
- ・緑の活動団体である「水の森里の会」は、活動場所である公園に隣接する学校との協働による多様な取組みが評価され、第42回「緑の都市賞(公益財団法人都市緑化機構)」みどりの市民協働部門を受賞



八木山テラスで開催されたコンサート



「水の森里の会」と学校との協働による緑地の維持管理

【コミュニティガーデンづくり】

- ・花壇づくり助成事業、花いっぱいまちづくり助成事業、花壇コンクール、ポケットパーク事業等により、地域の身近なガーデンづくりを推進
- ・令和7年度花壇コンクール地域の部では、サンボランティアが最優秀賞(仙台市長杯)を受賞
- ・地域の花壇づくりのリーダーを育成する「花と緑のアドバイザー養成実践講座」の卒業生が、全国都市緑化仙台フェアの会場となった青葉山公園追廻地区に整備された「もりと風のガーデン」で活動するほか、その他の花壇でも花壇づくりに参加



令和7年度花壇コンクール地域の部最優秀賞(仙台市長杯) 花壇



市民活動団体による花壇づくり活動(太白区役所前)

【成果指標(令和12年度まで)】

コミュニティを育むみどりの市民活動団体の結成数
目標:1,460団体

【令和7年度までの実績】

1,428団体

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度以降
指標到達に向けたスケジュール					黒…当初予定	赤…実績
【みどりに関する各活動団体の支援】						
「みどりの活動団体」の活動支援の継続						
・現存団体数 27団体	・現存団体数 29団体	・現存団体数 28団体	・現存団体数 28団体	・現存団体数 29団体		
「公園愛護協会」の活動支援・普及啓発						
・現存団体数 1,312団体	・現存団体数 1,326団体	・現存団体数 1,360団体	・現存団体数 1,359団体	・現存団体数 1,378団体		
「河川愛護団体」の活動促進・支援の実施						
・現存団体数 20団体	・現存団体数 20団体	・現存団体数 20団体	・現存団体数 21団体	・現存団体数 21団体		

【総括】

コミュニティを育むみどりの市民活動団体数は、公園整備に伴う公園愛護協会の結成や、全国都市緑化仙台フェアにおける花壇整備を契機に団体が発足したことなどが要因で、順調に増加している。今後も各活動団体への支援等を継続し、新たなみどりの担い手の創出を図る。

施設マネジメントの推進

老朽化した公園施設の効率的な維持管理による長寿命化、街路樹の整備や更新、管理などの総合的な計画の作成・運用の推進により、安全・安心な利用空間を創出します。

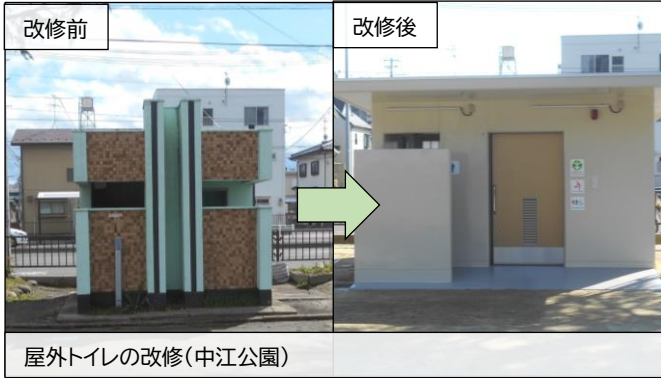
中間改定計画の内容

「計画的な施設点検や施設改修の実施」や「多様な主体との連携による維持管理技術の向上」などによる施設マネジメントのほか、「DXによる維持管理の効率化」など新技術を活用しながら安全・安心な利用空間を創出する。また、成果指標を上方向修正する。

事業の主な実績 ※全事業の実績・評価は、資料1－2 P. 9に掲載

【公園施設の長寿命化(屋外トイレ・複合遊具)】

- 令和5年度に公園施設の長寿命化を計画的に推進するため、「仙台市公園施設総合改修計画」を策定
- 予防保全型管理施設のうち大規模建築物、有料運動公園施設、橋梁類、照明灯、屋外トイレ、遊具を対象として、施設別の維持管理方針を設定
- 令和6年度から改修計画に基づき対象施設の改修等を実施



【公園施設の長寿命化(照明施設のLED化事業)】

- 公園照明灯には、主に水銀灯が用いられていたが、維持管理費の低減や環境面で大きな効果が見込めることから、LED灯への更新を実施
- 集中的な実施により、令和5年度に2,800灯(890公園)の更新が完了



【民間団体主催の剪定講習会等の支援】

- 民間事業者が実施する剪定技能講習会の学科講師として、市職員を派遣し、剪定業務を受託する事業者の技術向上を図る
- 令和5年度には新たな取り組みとして、市の助言のもと、民間事業者が剪定講習動画を作成



【成果指標(令和12年度まで)】

公園施設総合改修計画に基づく公園施設改修件数
目標:令和12年度までの10年間で延べ1,200公園

【令和7年度までの実績】

2,648公園

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度以降
	指標到達に向けたスケジュール					
	・菊田山公園ほか1公園再編	公園施設の量・質の適正化実施				
	【公園施設の長寿命化】	・六郷地区における機能再編				
	総合改修計画作成	照明施設のLED化事業				
		・計画に基づく施設点検の実施				
		予防保全型管理施設(遊具・運動施設・トイレ・橋梁等)の長寿命化対策・その他施設の効率的な更新				
当初予定		・4施設を対象とした改修計画の策定	・2施設を対象とした改修計画の策定 ⇒総合改修計画の作成完了			
実績	公園施設改修 466公園	公園施設改修 262公園	公園施設改修 891公園	公園施設改修 483公園	公園施設改修 546公園	公園施設改修 546公園
	※みどりの基本計画策定時には、「仙台市公園施設総合改修計画」において、事後保全型管理施設も計画の対象とする見込みであったため、みどりの基本計画成果指標の達成状況の算出の際には、事後保全型の施設改修も含めて計上している					

【総括】

公園照明灯のLED化を想定より短期間で集中的に実施したこと等が要因で、公園施設改修件数は上半期で目標値を上回った。今後も継続して、計画的・効率的な公園施設の改修を実施する。

みどりの魅力・情報発信の強化

全国都市緑化フェアの開催による国内外への新たな杜の都の発信やふるさとの杜再生プロジェクトのイベント開催等により、みどりを楽しむ機会を増やします。

中間改定計画の内容

「未来の杜せんだいネット ハナミドリエ」での情報発信や各種イベントの開催などにより、人々が杜の都のみどりを知り、みどりを楽しむ機会を増やすとともに、成果指標を上方修正する。

事業の主な実績 ※全事業の実績・評価は、資料2-2 P. 10に掲載

【全国都市緑化フェアの開催】

- ・第40回全国都市緑化仙台フェア(未来の杜せんだい2023)を令和5年4月26日～6月18日に開催
- ・来場者数は約115万人となり目標の100万人を達成したほか、経済波及効果は推計125.2億円
- ・フェアで多様な主体と培った協働事業の成果をレガシーとし、花やみどりを活用したまちづくりを推進するため、未来の杜せんだいネット「ハナミドリエ」事業を開始し、フェア会場の協働で整備した花壇の一部を市民協働で継続するほか、次世代の担い手の育成や、緑化イベント等を通じて緑化活動に携わる市民や事業者等が相互に連携する枠組みの運営等を実施



全国都市緑化仙台フェアメイン会場の大花壇「はなばた飾り」



ハナミドリエ事業での市民参加による花壇づくり

【わがまち緑の名所100選の改訂】

- ・令和4年度に改訂、令和5年度には冊子を発行
- ・市民により選定された本市の緑の名所を、市民からいただいた写真やその場所を詠んだ俳句、短歌とともに紹介

【SNSの活用等情報発信の強化】

- ・Facebook等のSNSを活用し、ふるさとの杜再生プロジェクトや各種コンクール・展示会等のイベントの情報発信を実施
- ・未来の杜せんだいネット「ハナミドリエ」については、令和6年度に開設したHPIに加え、InstagramとXによる情報発信を実施



令和版 わがまち緑の名所100選ガイドブック



未来の杜せんだいネット「ハナミドリエ」HPIおよびInstagram



【成果指標(令和12年度まで)】

ふるさとの杜再生プロジェクトのイベント参加者数
目標:令和12年度までの10年間で延べ2,000人

【令和7年度までの実績】

延べ 3,011人

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度以降
凡例 当初 予定 実績	指標到達に向けたスケジュール					
	【ふるさとの杜再生プロジェクト】※事業内容は5ページに掲載					
	荒浜地区貞山運河、高砂中央公園、海岸公園藤塚地区での植樹					
	植樹イベントの開催					
	・育樹会開催 5回 138名参加	・植樹会開催 2回 270名参加 ・育樹会開催 5回 164名参加	・植樹会開催 1回 100名参加 ・育樹会開催 5回 114名参加	・植樹会開催 1回 90名参加 ・育樹会開催 3回 127名参加	・植樹会開催 1回 100名参加 ・育樹会開催 4回 266名参加	
	苗木育成用苗圃の整備		苗圃の運営・活用			
	苗木育成用苗圃の整備		苗圃の運営・活用			
	子ども向けの参加プログラムの実施					
	・子ども向け学習プログラム 16回 450人参加		・子ども向け学習プログラム 9回 290人参加		・子ども向け学習プログラム 9回 370人参加	
					・子ども向け学習プログラム 11回 532人参加	

【総括】

ふるさとの杜再生プロジェクトのイベント参加者数が、上半期で目標値を上回った。目標値は新型コロナウイルス感染症の流行状況を踏まえて設定されたが、感染対策が緩和されたことによりイベントに参加しやすくなったことが要因の一つと考えられる。

4. B評価となった事業のフォローアップ

B評価となった原因と今後の対応

事業名	B評価となった原因	今後の対応
西公園再整備事業	プール跡地南側エリアの屋内遊び場の供用開始に合わせて整備を進めることになったため。	プール跡地南側エリアの屋内遊び場の供用開始に合わせて整備を進める。
肴町公園再整備事業	肴町公園周辺エリアまちづくり協議会と地元町内会・地域住民との調整に時間を要しているため。	まちづくり協議会によるエリアビジョンの策定の進捗を把握しながら、再整備の手法を再検討する。
街路樹の総合的な管理計画の作成・運用	路線別カルテは作成したが、根上がりや樹勢不良等、維持管理の上で特に問題がある路線等での樹木更新事業を優先したため。	街路樹更新(高木)を先行して実施し、街路樹の量を適切にしたうえで、路線別管理カルテを活用した街路樹管理を行う。
屋敷林(居久根)の保全と活用	保存樹林指定候補地の所有者から、指定の承諾を得られなかったほか、候補地の一つであった屋敷林が消失したため。	引き続き、保存樹林の指定候補地となる屋敷林の所有者に対し、指定に向けた働きかけを行っていく。
街路樹マップの改定	街路樹マップ構成の検討を実施したものの、他事業を優先したことで改定を実施することができなかったため。	令和8年度以降に改定を実施する。